

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

下肢高強度反復運動後のリカバリーに及ぼす手掌冷却の効果
1. 研究の対象および研究対象期間 2025年度理学療法学研究法にて手掌冷却とパフォーマンスに関する測定をしてくださった方（2025年9～10月）
2. 研究目的・方法 スポーツ分野において、競技後の適切なリカバリーは、パフォーマンスの回復、障害予防、コンディショニング維持のためにきわめて重要とされています。理学療法の分野においても、様々な物理療法や運動療法を用いたリカバリー戦略の研究がされている中で運動後の体温調節を目的としたアイシングは手法の一つです。従来のアイシングは、疲労した筋群や、軟部組織を直接冷却することが主ですが、近年、体温調節機能を効率的に利用した手掌のアイシングが注目を集めています。本研究では、2025年度理学療法学研究法の演習にて得られた情報を用いて、下肢の最大反復垂直跳び後のリカバリー過程における手掌冷却がパフォーマンスや身体機能に与える影響を明らかにすることで、手掌冷却が及ぼす下肢へのリカバリー効果を検討することを目的としています。
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 アンケート項目（運動歴の有無、年齢、下肢の疼痛） 測定項目（心拍数、ジャンプ高、関節可動域、自覚的疲労強度、運動後の疼痛）
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻
氏名 来住野麻美

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻

氏名：来住野麻美

住所：横浜市緑区十日市場町 1865

電話番号： 045-985-6594